



天気と写真と保育のはなし

晴れ、曇り、雨。良いポートレート（人物）写真が撮れるのはどの天気だと思いますか？

晴れを選びたくなりますが、実は一番良い表情が撮れるのは『曇り』です。理由は光の強弱です。曇りの方が光が柔らかく、コントラストが緩やかなので、表情が伝わる良い写真が撮れます。逆に夏は真上から強烈な光が降り注ぐので、顔に濃い影が落ちてしまい、表情が見えません。しかし、上の写真のように影絵を撮るなら、晴天が最高です。光という人間にとって不可欠なものでも、場面によってプラスにもマイナスにもなりえます。これは保育についても言えるかもしれません。優れた教育法や指導力の高い保育士も時として子どもたちの思考力や自由を奪ってしまうかもしれません。明るく照らす太陽のような保育も素敵ですが、薄曇りの柔らかな光のような、やさしい保育を心がけたいと思っています。 園長 山田